Salesforce.Arch-303.v2026-11-04.q25

試験コード：	Arch-303
試験名称：	Salesforce Certified B2C Commerce Architect
認証ベンダー：	Salesforce
無料問題の数：	25
バージョン：	v2026-11-04
ページの閲覧量：	106
問題集の閲覧量：	277

https://www.jpnshiken.com/shiken/Salesforce.Arch-303.v2026-11-04.q25.html

質問: **1**
ある企業から、カスタム製品検索ツールの作成依頼が建築家に寄せられました。この検索ツールは当初は1つのサイトでのみ利用可能で、最終的には企業が管理するすべてのサイトで利用可能になる予定です。また、これらのツールはジョブコンテキストで使用でき、他のシステムにエクスポートできる必要もあります。
各サイトには、商品検索で使用できる異なるカテゴリが用意されています。
アーキテクトは、ストアフロントとジョブコンテキストの両方で使用するカスタム設定をどこに保存すべきでしょうか？
A. サイトスコープを持つカスタムオブジェクト
B. ジョブフレームワークパラメータ
C. カテゴリカスタム属性
D. 組織スコープを持つカスタムオブジェクト
正解: **(**正解を表示します**)**
ストアフロントとジョブコンテキストの両方でアクセス可能な商品検索機能のカスタム設定を管理するには、これらの設定を組織スコープを持つカスタムオブジェクトに保存するのが最も適切です。これにより、設定を一元管理し、異なるサイトやジョブコンテキスト間でアクセス可能にすることで、構成の一貫性と再利用性を確保できます。
* 組織的範囲 :データの重複なしに複数のサイト間で設定を共有できるようにし、組織のさまざまな部分に影響を与える構成に関する単一の信頼できる情報源を維持します。
* カスタムオブジェクト: 製品検索機能やその他の統合機能のビジネス要件に固有の特定の属性と値を定義できる柔軟性を提供します。

質問: **2**
サードパーティの調査プロバイダーは、個々の調査データ用のAPIエンドポイントと、バッチ調査データを受け入れることができるSFTPサーバーエンドポイントの両方を提供します。統合の初期実装には以下が含まれます。
1.注文前にアンケートが必要であることを注文にマークする
2. 注文確認ページに、お客様が記入するためのアンケートフォームが表示されます。
3. データは調査プロバイダーのAPIに送信され、注文は調査が不要としてマークされます。その後、以下の問題と追加要件が判明したため、このソリューションは目的に適していないことが判明しました。
1. API呼び出しが失敗した場合、対応する調査データが失われます。ビジネス上、データ損失は避ける必要があります。
2. 一部の顧客はフォームへの入力をスキップしました。企業は、そのような顧客にアンケートメールを送信する必要があります。
3. 注文管理システム（OMS）は非標準のXMLパーサーを使用しているため、xmlからアンケート属性を手動で削除するまで、アンケートを含む注文を解析できませんでした。
建築家は、上記で述べた課題と要件にどのように対処すべきでしょうか？
A. アンケートが必要な場合にカスタムセッション属性を作成します。リアルタイムでAPIエンドポイントに送信します。失敗した場合は、セッション内のアンケートデータを取得して再処理し、アンケートがスキップされた場合は、そのセッション属性を使用してメールを送信します。

B. アンケートデータを保存するためのカスタムオブジェクトを作成します。ジョブを使用してAPIエンドポイントに送信します。成功した場合は、カスタムオブジェクトを削除します。失敗した場合は、同じジョブの次回の実行時にAPIを使用してアンケートデータを送信します。アンケートがスキップされた場合は、カスタムオブジェクトを使用してメールを送信します。
C. アンケートが必要な場合にカスタムオブジェクトを作成し、リアルタイムでAPIエンドポイントに送信します。成功した場合はオブジェクトを削除します。失敗した場合は、アンケートデータをカスタムオブジェクトにキャプチャし、後でジョブを使用して再処理します。アンケートがスキップされた場合は、カスタムオブジェクトを使用してメールを送信します。
D. 調査データが正常に取得されるまで、調査データをリアルタイムでAPIエンドポイントに送信します。OMS開発チームにXMLパーサーを更新するように指示し、調査がスキップされた場合は注文調査属性を使用してメールを送信します。
正解: **(**正解を表示します**)**
このアプローチは、データ保持、失敗時の再試行、フォローアップコミュニケーションといったあらゆる懸念事項に対応します。アンケートデータをカスタムオブジェクトに保存することで、API呼び出しが失敗した場合でもデータが保持され、再処理が可能になります。
この方法は、スキップされたアンケートのカスタムオブジェクトを照会することでフォローアップメールの送信を容易にし、データ処理と顧客エンゲージメントにおける包括的な網羅性と信頼性を確保します。

質問: **3**
クライアントは以下のビジネス要件を提示しました。
* B2Cコマースストアフロントは、クライアントの注文管理システム（OMS）と統合されます。
* ストアフロントは、正常に処理された注文のリアルタイム注文エクスポートを提供します。OMS は、Web サービスエクスポートと SFTP バッチ注文エクスポートの両方をサポートしていますが、クライアントは OMS の可用性について懸念を表明しています。
要件を満たし、OMSの信頼性に関する懸念に対処する2つのソリューションはどれですか？
2つの回答を選択してください
A. Webサービスを介してチェックアウト中に注文のライブエクスポートを実装し、AMが正常に返されたときに処理された注文をエクスポート済みとしてマークします。
B. エクスポート済みの注文を除外し、注文をバッチでSFTPにエクスポートします。これは、高頻度実行レートのスケジュールされたfc>bとして実行され、処理された注文は成功時にエクスポート済みとしてマークされます。
C. Webサービスを介して注文の一括エクスポートを実装します。エクスポート済みの注文は除外します。これは、1時間ごとに実行されるスケジュールされたジョブとして実行され、処理済みの注文が正常にエクスポートされると、終了時にエクスポート済みとしてマークされます。
D. SFTP を介してチェックアウト中に注文のライブエクスポートを実装し、処理された注文が正常に完了したときにエクスポート済みとしてマークします。
正解: **(**正解を表示します**)**
OMSの信頼性に関する懸念を踏まえ、スケジュールされたバッチエクスポートを実装することで、OMSのダウンタイムによる注文データの損失を防ぎ、エクスポート失敗時の再試行を可能にします。オプションBでは、SFTPを使用して高頻度のバッチエクスポートを実行します。このエクスポートは1日に複数回実行するようにスケジュール設定できるため、注文同期の遅延を最小限に抑えつつ、送信成功時に注文をエクスポート済みとしてマークできます。
オプションCは、同様の安全対策をウェブサービス経由で提供し、1時間ごとに実行するようにスケジュール設定できます。どちらの方法もエクスポート状況の追跡が可能で、一時的なダウンタイムが発生した場合は、エクスポートが成功するまで再試行することで対応できるため、統合プロセスにおける信頼性の必要性に対応できます。

質問: **4**
開発者がリモートで製品のレビューを取得している。
HTTP GETリクエストであり、キャッシュを実装する必要があると仮定した場合、開発者はキャッシュ戦略を構築する際にどのような点を考慮すべきでしょうか？
A. HTTPサービスリクエストをキャッシュする
B. リモートにはレビューのみキャッシュが含まれます
C. カスタムキャッシュを使用する
D. HTTPサービスのキャッシュにキャッシュされたリモートインクルード

正解: **D** (コメントを発表する)
商品レビューを取得するために使用される HTTP GET リクエストを効率的にキャッシュするには、キャッシュされたリモートインクルードと HTTP サービス自体のキャッシュを組み合わせるのがベストプラクティスです (回答 D)。この方法では、リモートサービス呼び出しの出力をサービス層でキャッシュし、後続のリクエストで再利用します。このアプローチにより、リモートサービスへの呼び出し回数が最小限に抑えられ、読み込み時間が短縮され、キャッシュの鮮度設定に従って表示されるレビューが最新の状態であることが保証されます。キャッシュによるパフォーマンス上のメリットと、レビューなどのコンテンツを最新の状態に保つ必要性とのバランスが最適に取れています。

質問: **5**
クライアントは業績好調で、eコマースウェブサイトをB2Cコマースに移行することを決定しました。クライアントは、過去12か月間の既存ウェブサイトの指標と、今後1年間の予測をアーキテクトに提供しました。

Average visits per hour	500
Peak visits per hour	1000
Average page views per hour	10000
Peak page views per hour	20000
Average orders per hour	100
Peak orders per hour	250
Average items per order	2.1
Average order value	300 USD
Expected growth percentage	300

これらの過去の指標と予測される300%の成長率を考慮すると、新しいB2Cコマースサイトのテストにおけるベストプラクティスを満たす負荷テストのターゲットはどれでしょうか？
A. 1時間あたり15万回の訪問、1時間あたり300万回のページビュー、1時間あたり3万7500件の注文
B. 1時間あたり15,000回の訪問、1時間あたり300,000ページビュー、1時間あたり3,750件の注文
C. 1時間あたり3000回の訪問、1時間あたり60000ページビュー、1時間あたり750件の注文
D. 1時間あたり1500回の訪問、1時間あたり30000ページビュー、1時間あたり375件の注文
正解: (正解を表示します)
既存の指標と予測される300%の成長率を考慮すると、新しいB2Cコマースサイトの適切な負荷テスト目標は次のようになります。
* 1時間あたり15,000回の訪問 :この数値は、予想される増加率を1時間あたりのピーク訪問数（1,000回）に適用して算出され、4,000回となります。15,000回という数値を選択することで、予期せぬトラフィックの急増に対応するための余裕が生まれます。
* 1時間あたり30万ページビュー: 同様に、成長を考慮して、1時間あたりのピークページビュー数(2万)からスケールアップし、サイトが高い需要とインタラクションに対応できるようにします。
* 1時間あたり3750件の注文 :この目標は、ピーク時の1時間あたりの注文数（250件）に成長率を適用したもので、システムが大きな負荷の下でトランザクションを処理する能力をテストすることを目的としています。
これらの目標は、トラフィックとトランザクションの増加に対応し、パフォーマンスの低下を招かない十分な堅牢性をシステムが確保することを保証するものであり、顧客満足度と運用安定性を維持するために不可欠です。

質問: **6**
クライアントは新しい決済サービスプロバイダー（PSP）への切り替えを計画しています。新しいPSPを統合するのにかかる時間と労力を把握するため、アーキテクトに相談しました。PSPはSiteGenesisPipelinesと互換性のあるLINKカートリッジを提供していますが、クライアントのWebサイトはコントローラーで構築されています。
建築家は分析を開始する前に、どの2つの選択肢を考慮すべきでしょうか？ 2つ選択してください。
A. LINKカートリッジをパイプラインからコントローラに変換するための労力とリスクを推定します。
B. PSP開発チームに連絡を取り、コントローラーに対応した新しいカートリッジバージョンが開発中かどうかを問い合わせてください。
C. 最も重要なパイプラインをコントローラに変換し、カートリッジを統合する概念実証を作成する。

D. コントローラーに対応していて、改造作業が不要な別のPSPを探してください。
正解: **(**正解を表示します**)**
SiteGenesis Pipelines向けに設計された新しい決済サービスプロバイダー（PSP）LINKカートリッジを、コントローラー上に構築されたサイトに統合する場合、以下のオプションを検討してください。
* オプションA（LINKカートリッジをパイプラインからコントローラに変換するための労力とリスクを見積もる）：カートリッジの変換に伴う労力を評価することで、プロジェクトの範囲を把握し、リスクを管理し、リソースを効果的に配分するのに役立ちます。
* オプションB（PSP開発チームに連絡を取り、コントローラーをサポートする新しいカートリッジバージョンが開発中かどうかを問い合わせる）：互換性のあるバージョンが既に計画または開発中であれば、これにより開発時間とリソースを大幅に節約できる可能性があります。
これらのアプローチは、統合戦略について十分な情報に基づいた意思決定を行い、カスタマイズの取り組みと既存ソリューションの活用とのバランスを取るのに役立ちます。

質問: **7**
クライアントは最近新しいブランドを買収し、その新ブランドの既存のeコマースサイトを既存のシステムに統合して新しいサイトとして運用したいと考えています。買収したブランドは、製品データと在庫管理のための独自の企業資源計画（ERP）システムを保有しています。新しいサイトでは、既存の注文管理システム（OMS）と顧客関係管理（CRM）システムを使用します。
アーキテクトが技術仕様書を作成する際に留意すべき2つの要件は何ですか？
2つの回答を選択してください
A. 顧客をエクスポートするには、新しい顧客エクスポートジョブを作成する必要があります。
B. 製品を管理するには、新しい製品インポートジョブを作成する必要があります。
C. 在庫を管理するには、新しい在庫インポートジョブを作成する必要があります。
D. 注文をエクスポートするには、新しい注文エクスポートジョブを作成する必要があります。
正解: **(**正解を表示します**)**
新規ブランドのECサイトを既存のシステムに統合する場合、アーキテクトは、新規ブランドのERP（企業資源計画）システムからの製品データと在庫が、システム内で正しく管理されるようにする必要があります。そのため、製品（回答B）と在庫（回答C）の新しいインポートジョブを作成することが不可欠です。これらのインポートジョブにより、新規ブランドの製品カタログと在庫レベルを、既存のOMS（注文管理）システムおよびCRM（顧客関係管理）システムと同期させることができます。このような統合は、システム全体で最新の製品情報と在庫情報を維持し、シームレスな運用とデータの一貫性を確保するために非常に重要です。

質問: **8**
クライアントは新しいストアフロントを作成中で、その要件は以下のとおりです。
* Apple Pay対応
* 標準のOAuth2ソーシャルメディアアカウントでログインします
* ワンクリックのチェックアウトプロセス
* プロモーションのためのAy Bテスト
ストアフロント参照アーキテクチャをカスタマイズするために、技術文書が必要となる項目はどれですか？（2つ選択）
2つの回答を選択してください
A. Apple Pay対応
B. プロモーションのためのA/Bテスト
C. ワンクリック決済プロセス
D. 標準的なOAuth2ソーシャルメディアアカウントでログインする
正解: **(**正解を表示します**)**
特定の要件を満たすようにストアフロント参照アーキテクチャをカスタマイズするには、以下の項目について詳細な技術文書が必要となります。

* オプションA（ワンクリックチェックアウトプロセス）ワンクリックチェックアウトプロセスを実装するには、チェックアウトフローを効率化するための大幅なカスタマイズが必要となり、場合によっては決済プロバイダーとの統合やユーザーセッション管理の変更が必要になる可能性があります。
* オプション C (標準の OAuth2 ソーシャルメディア アカウント経由でログイン): ソーシャルメディア ログインに OAuth2 を統合するには、認証トークン、ユーザー セッションの処理、および B2C コマース プロファイルとのユーザー データの同期が必要となる場合があり、これらすべてに詳細なセキュリティおよび統合ドキュメントが必要です。
これらのカスタマイズは、既存のストアフロント参照アーキテクチャコンポーネントとシームレスに連携し、セキュリティ基準を満たすように、綿密な計画と実装が必要です。

質問: **9**
Google検索結果からドメインを開いた際に、サイトに問題が発生しています。問題を調査した結果、URLにパラメータを含めてアクセスすると、サイトが404ページエラーを返すことが判明しました。
その問題を解決するために、建築家はどのような対策を推奨すべきでしょうか？
A. ホームページにリダイレクトするための動的なキャッチオールルールを追加します。
B. ドメインのエイリアス設定に以下のコードスニペットを追加してください。
C. このスニペットをドメインのエイリアス設定に追加します
D. URLにパラメータが含まれている場合は、ホームショーへの動的リダイレクトを追加します。このスニペットをドメインのエイリアス設定に追加します。
正解: **A (**コメントを発表する**)**
Google検索結果からのパラメータを使用してサイトにアクセスした際に404エラーが返されるという問題に対処するには、そのようなリクエストをホームページにリダイレクトする動的なキャッチオールルールが効果的な解決策です（回答A）。
このアプローチにより、パラメータが付加された外部リンクからアクセスしたユーザー（設定されたルートやエイリアスと一致しない可能性がある）は、エラーページが表示されるのではなく、有効なページにリダイレクトされます。これにより、ユーザーエクスペリエンスが向上し、リンク切れや古いURLによる離脱率を最小限に抑えることができます。

質問: **10**
開発者がクロスサイトスクリプティング（XSS）の脆弱性をチェックしたところ、以下のスクリプトでクイック検索がエスケープされていない（JavaScriptが挿入される可能性がある）ことが判明しました。

```
<script>
var searchPhrase = '${searchPhrase}';
</script>
```

開発者はこの問題をどのように解決するだろうか？
A. 'を二重引用符に置き換えてください*
B. <isprint value="${searchPhrase}* encoding-'jshtmr /> を使用します
C. <isprint value='${searchPhrase} encoding-'jsblock" /> を使用してください
D. <toprint value="${searchPhrase}" /> を使用してください
正解: **(**正解を表示します**)**
クイック検索がエスケープされていないために発生するクロスサイトスクリプティング（XSS）の問題を解決するには、開発者は「jshtml」エンコーディングオプションを指定した<isprint>タグを使用する必要があります（回答B）。この方法により、検索語句に含まれるJavaScriptが適切にエスケープされ、悪意のあるスクリプトの実行を防ぐことができます。
「jshtml」エンコーディングは、JavaScriptが埋め込まれたHTMLコンテキストのテキストをエンコードするために特別に設計されており、Salesforce B2C Commerceでユーザー入力を安全に処理する方法を提供します。

質問: **11**
ECサイトには動的な配送料計算機能があります。これにより、顧客は商品をカートに追加する前に、商品詳細ページで想定される配送料を確認できます。
この機能では、配送料は以下のロジックに基づいて計算されます。

* カートで配送方法を設定する
商品をカートに追加し、カートの合計金額を計算して、この配送方法の送料を取得します。
* 商品をバスケットから取り除くと、元の状態に戻ります。
* 上記の手順は、各配送方法ごとに繰り返されます。
テスト中に、上記のコードがspi.basket.addResolveInSameResquestのクォータに違反していることが判明しました。
この問題を解決し、ビジネス要件を維持するために、アーキテクトは何をすべきでしょうか？
A. 商品の削除を省略し、商品をカートに追加することで、お客様のプロセスを迅速化します。
B. 顧客がチェックアウトの準備が整い、希望する配送方法を選択するまで、配送料の計算は行いません。
C. すべてのステップに対して 1 つのトランザクションを使用するのではなく、プロセスの個々のステップをそれぞれ独自のトランザクションでラップします。
D. 商品の追加と送料計算をトランザクションにラップし、その後ロールバックして元の状態に戻します。
正解: **D** (コメントを発表する)
spi.basket.addResolveInSameRequest のクォータ違反の問題を解決し、商品がカートに追加される前に配送料を動的に計算する機能を維持するためには、以下の方法が最善です。
* オプションD：商品の追加と配送料の計算をトランザクションにラップし、その後ロールバックして元の状態に戻します。この方法により、バスケットの状態を永続的に変更することなく、システムが潜在的な配送料を計算できるようになります。このアプローチは、バスケットの元の状態を維持しながら複数の配送料計算を可能にし、システムリソースへの負荷を効果的に管理し、プラットフォームの割り当て量を遵守します。

質問: **12**
クライアントはコードをデプロイする自動ビルドを実行していますが、最近のビルドでコンパイルエラーが発生し、開発者の環境では再現できない問題が発生しています。
問題を特定して解決するために、最初にとるべきステップは何ですか？
A. ビルドサーバーの作業領域をクリーンアップして、ジョブを再度実行します。
B. コード生成に使用されたモジュールのバージョンを確認します。
C. ビルド用に生成されたJavaScriptとCSSを確認します。
D. ビルドサーバーでジョブを再作成して、コンパイルの問題を確認します。
正解: (正解を表示します)
開発者の環境では再現できないビルドエラーが発生した場合、一般的な効果的な最初のステップは、ビルドサーバーのワークスペースをクリーンアップすることです（回答A）。この操作により、ビルドプロセスに影響を与え、ローカルビルドとサーバービルドの不一致を引き起こしている可能性のある、残存ファイル、設定、またはデータがクリアされます。ワークスペースをクリーンな状態にリセットすることで、ビルドプロセスが一貫したベースから開始されることが保証され、古いデータや破損したビルド成果物によって引き起こされる問題が解決される可能性があります。このステップは、コードやモジュールバージョンではすぐには明らかにならない、隠れた構成や環境固有の問題を解決することがよくあります。

質問: **13**
アーキテクトがLog Center経由で本番ログの監査を実施したところ、潜在的に危険なカスタムログ出力がいくつか見つかりました。



このログ出力は、本番環境においてどのような点で不適切ですか？ 2つ選択してください。

A. ログ情報には、クレジットカード番号（PAN）とともに顧客のカード名が表示されており、これは PCI に違反しています。

B. ログ情報には顧客のカードのCW（カードセキュリティコード）と有効期限が含まれており、PCIに違反しています。

C. 情報ログは本番環境で使用すべきではありません。

D. ログ情報には注文番号と顧客のメールアドレスが含まれており、PCI に違反しています。

正解: (正解を表示します)

運用環境において、クレジットカード情報（PAN、CVV、有効期限など）といった機密性の高い顧客情報をログに記録することは、深刻なセキュリティおよびコンプライアンス上の問題、特にPCI DSS（決済カード業界データセキュリティ基準）の要件違反につながる可能性があります。PCI DSSでは、CVVコードの保存を厳しく禁止し、表示されるPANはすべてマスキングすることを義務付けています。このようなデータをログに保存することは、データ漏洩のリスクを高めるだけでなく、これらの基準に違反すると罰則が科される可能性もあります。

* オプション A: 顧客のカード名とクレジットカード番号全体を記録することは、カード番号の下 4 桁までしか表示できないと規定している PCI DSS の要件に明らかに違反します。

* オプション B: カードセキュリティコード (CVV) と有効期限の記録は PCI DSS で明確に禁止されています。PCI DSS では、CVV を含む機密性の高い認証データは、暗号化されている場合でも、認証後に保存してはならないと規定されています。

質問: **14**

クライアント向けの新規プロジェクトでは、クライアントのミドルウェアシステムへの複数の統合を行い、4つの異なるWebサービスを構築します。これらのWebサービスはすべて、ミドルウェアへのアクセスに同じ認証情報を使用します。タイムアウト時間もそれぞれ同じですが、ログファイルのプレフィックスはそれぞれ異なります。

アーキテクトは、最小限の設定でサービスフレームワークを使ってこれをどのようにセットアップすべきでしょうか？

A. 4つのサービス構成、4つのサービスプロファイル、1つのサービス認証情報

B. 4つのサービス構成、4つのサービスプロファイル、4つのサービス認証情報

C. 4つのサービス構成。1つのサービスプロファイル、1つのサービス認証情報。

D. 1つのサービス構成、4つのサービスプロファイル、1つのサービス認証情報。

正解: (正解を表示します)

同じ認証情報とタイムアウト設定を必要とするが、ログファイルのプレフィックスを個別に指定する必要がある複数の統合を設定する場合：

* 4つのWebサービスそれぞれについて、固有のエンドポイントやその他の詳細を指定するには、4つのサービス構成が必要です。

* これらの構成はすべて同じタイムアウトやその他の設定を共有しているため、1つのサービスプロファイルを使用して構成プロセスを最適化できます。

* すべてのサービスが同じ認証情報で認証を行うため、1つのサービス認証情報で十分であり、認証情報の管理とセキュリティ処理が簡素化されます。
この構成により、サービスフレームワークにおける冗長性と複雑さが軽減され、すべての規定要件を満たしながら、合理化された効率的な統合プロセスが保証されます。

質問: **15**
Northern Trail Outfitters (NTO) は、独自の eCommerce プラットフォームから B2C Commerce にオンライン ショップを移行した後、サービスを開始しました。NTO は、注文を移行する必要があります。NTO は B2C Commerce フィードを提供できませんが、現在の eCommerce サイトからカスタム エクスポート We を使用できます。
これらの注文をB2Cコマースに移行するための正しい手順は何ですか？
A. 注文ファイルを受け取り、ジョブを使用して B2C Commerce スキーマで注文を生成します。ローンチ前に、クライアントに本番環境にインポートするよう依頼します。
B. B2Cコマースサポートチケットを作成し、Northern Trail Outfittersから受け取った注文フライをインポートするように依頼してください。
C. 注文ファイルを受け取り、ジョブを使用して、受け取った注文データでB2Cコマースに新しい注文を行います。
D. 注文ファイルを受け取り、ジョブを使用して B2C Commerce スキーマで注文を生成します。B2C Commerce サポートチケットを作成し、注文のインポートを依頼します。
正解: **(**正解を表示します**)**
カスタムeコマースプラットフォームからB2Cコマースへ過去の注文データを移行するには：
* オプションD :エクスポートされた注文ファイルを受け取り、互換性を確保するためにB2Cコマースのスキーマに処理した後、B2Cコマースサポートと連携してこれらの注文を本番環境にインポートします。このプロセスにより、注文が正しくフォーマットされ統合され、データの整合性とビジネス分析および記録の継続性が維持されます。
このアプローチは、新しいプラットフォーム内で注文データの運用面および履歴面における整合性を維持しながら、移行を成功させるために不可欠です。

質問: **16**
クライアントは以下のビジネス要件を提示しました。
* B2Cコマースプラットフォームは、クライアントの注文管理システム（OMS）と統合されます。
* OMSは統合をサポートしていますが、従来のRPCスタイルのSOAPサービスはサポートしていません。
* OMSはクライアントのインフラストラクチャ上でホストされます。
OMSサービス用に提供されるWSDLを配置するのに最適なカートリッジフォルダはどれですか？
A. /cartridge/webreferences2
B. /cartridge/webreferences
C. /カートリッジ
D. /cartridge/services
正解: **B (**コメントを発表する**)**
Salesforce Commerce Cloud では、SOAP サービス用の WSDL ファイルを整理する標準的な方法として、/cartridge/webreferences ディレクトリに配置します。このフォルダは、Web サービス定義 (WSDL) を保存するために特別に設計されており、カートリッジ内で構造化された方法で管理されることを保証します。この整理方法により、クリーンなアーキテクチャを維持し、開発および保守目的でこれらのサービス定義に簡単にアクセスできるようになります。

有効的な**Arch-303**問題集はJPNTest.com提供され、**Arch-303**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**Arch-303**試験問題集を提供します。JPNTest.com Arch-303試験問題集はもう更新されました。ここで**Arch-303**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/Arch-303-mondaishu **68**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **17**
あるクライアントが新しいサイトを本番環境にデプロイしました。しかし、スモークテスト中に、一部の顧客が商品詳細ページで正しい価格を確認できないことが判明しました。

建築家はこの問題の原因を探るために、まずどの3つの場所から調査を始めるでしょうか？
3つの回答を選択してください
A. ログセンターを確認してください
B. 割り当て状況ページを確認してください。
C. グローバル設定を確認して、設定が正しいことを確認してください。
D. レプリケーション中にエラーが発生していないことを確認してください。
E. キャッシュが正しく設定されていることを確認してください
正解: **C,D,E (**コメントを発表する**)**
一部のお客様が商品詳細ページで正しい価格を確認できないという問題を解決するには、以下の箇所を確認してください。
* グローバル設定（C）グローバル設定が意図した価格戦略および構成と一致していることを確認することが重要です。これには、通貨設定、価格ルール、および税金構成の確認が含まれます。これらはすべて、顧客に表示される価格に影響を与える可能性があります。
* レプリケーション中のエラー（D）データレプリケーション中にエラーが発生した場合、価格表示の誤りなど、データの不整合が生じる可能性があります。特にステージング環境から本番環境への移行時には、データが正しく、エラーなくレプリケーションされていることを確認することが不可欠です。
* キャッシュ設定（E）キャッシュ設定が間違っているか、キャッシュされたデータが古い場合、古い価格や誤った価格が表示されることがあります。キャッシュをクリアするか、キャッシュ無効化ルールが正しく設定されていることを確認することで、このような問題を解決できます。
これらの手順は、表示される価格が正確かつ一貫性のあるものであることを確認し、シームレスなユーザーエクスペリエンスを提供するために不可欠です。

質問: **18**
注文管理システム（OMS）は、複数のブランド固有のサイトからの注文を処理します。処理の一環として、OMSは処理の詳細をB2Cコマースの注文のメモに追加します。これらの処理の詳細はカスタムオブジェクトに一時的に保存され、後でバッチジョブによって処理されます。
* カスタムオブジェクトを処理して、注文IDとメモデータを抽出します。
* 注文を読み込もうとします。
* 注文が見つからない場合は、カスタムオブジェクトを削除して次に進みます。
* 注文が見つかった場合、注文内のメモを更新します。この注文の更新が成功すると、カスタムオブジェクトを削除します。
ジョブが頻繁に失敗し、カスタムオブジェクトの数が増加しているという問題が報告されています。本番環境を調査したところ、失敗するたびに以下のメッセージがログに記録されていました。

```
Processing of custom object 1xoskncjdw687769 failed for order 50000001 and has an associated
replacement order 100000001. Exception details:
com.demandware.core.quota.QuotaLimitExceededException: Limit for quota 'object.OrderPO.relation.notes'
exceeded. Limit is 1000, actual is 1001. at
com.demandware.core.quota.QuotaExceededException.throwLimitExceed(QuotaExceededException.java:21) at
com.demandware.core.quota.QuotaImpl.handleHardLimitViolation(QuotaImpl.java:333) at
```

ipnshiken.com
重要なデータを失うことなくこの問題を解決するために、アーキテクトが取り得る3つの解決策は何ですか？
3つの回答を選択してください
A. 注文のバックアップをXML形式で取得し、注文を削除して、次回のジョブ実行時にカスタムオブジェクトが処理されるようにします。
B. BMサイトのインポート/エクスポートを使用して、<quota id="object.orderPo.relation,notes"> <custom- action>warn<custom-action> </quots>をソフト化して、注文メモが失われず、カスタムオブジェクトが処理されるようにします。

C. カスタムオブジェクトのバックアップを取得し、カスタムオブジェクトを削除して、次回のジョブ実行時にカスタムオブジェクトが処理されるようにします。
D. B2Cコマースサポートチームに依頼して、 δbject.OrderPO.relation.notes」のクォータ制限を緩和してください。
E. 注文のバックアップを XML 形式で取得し、注文からメモを削除して、次回のジョブ実行時にカスタム オブジェクトが処理されるようにします。
正解**: C,D,E (**コメントを発表する**)**
注文メモの割り当て制限を超過したためにカスタムオブジェクトの数が増加し、問題が発生した場合、効果的な解決策は次のとおりです。
* オプション C (カスタム オブジェクトのバックアップを取得し、カスタム オブジェクトを削除する): これにより、データが保持され、新しいプロセス用のスペースが解放され、負荷が軽減されるため、割り当て制限の妨げを受けることなくジョブの実行を継続できます。
* オプション D (B2C コマース サポート チームに連絡して、'object.OrderPO' のクォータ制限を緩和します。
relation.notes'): クォータ制限を増やすことで、注文処理とメモ追加機能の整合性を損なうことなく、実際のビジネスニーズに対応し、問題の根本原因を解決できます。
* オプション E (注文のバックアップを XML として取得し、注文からメモを削除する): これにより、ビジネスニーズのために注文データがそのまま保持されるようにしながらスペースをクリアすることで、ジョブが後続の実行でカスタム オブジェクトを意図どおりに処理できるようになります。
これらの手順により、貴重な注文データやメモデータを失うことなく、割り当て制限の問題に効果的に対処し、事業運営の継続性と完全性を確保できます。

質問**: 19**
あるクライアントは、複数のブランドのプロモーションやクーポンを管理するために、外部のマーケティングツールを使用しています。現在、B2C Commerceには1つのブランドしか登録しておらず、このツールによって作成されたインポート準備済みのフィードをSFTPロケーションで取得しています。
マーケティングチームは、終業時間までにデータ準備を完了する。
アーキテクトはこのインポートをどのように処理すべきでしょうか？
A. ジョブを作成し、3 つのステップを定義します。1 つのステップでは ExecuteScriptModule を使用して SFTP からファイルをダウンロードし、残りの 2 つの標準ステップでプロモーションとクーポンをインポートします。
B. ジョブを作成し、3 つのステップを定義します。1 つの標準ステップは sftp からファイルをダウンロードし、2 つのステップは Execute Script Module を使用してプロモーションとクーポンをインポートします。
C. ジョブを作成し、3 つのステップを定義します。1 つのカスタム ステップで SFTP からファイルをダウンロードし、2 つの標準ステップでプロモーションとクーポンをインポートします。
D. ジョブを作成し、SFTP からファイルをダウンロードする、プロモーションをインポートする、クーポンをインポートする、という 3 つのカスタム手順を定義します。
正解**: C (**コメントを発表する**)**
SFTPロケーションからプロモーションおよびクーポンデータをインポートするには、オプションCで説明されているように、3つのステップで構成されるジョブを作成するのが最適な方法です。最初のステップでは、カスタムスクリプトを使用してSFTPサーバーからファイルをダウンロードします。これは、外部サーバーからのファイル取得には通常、特定の接続設定とセキュリティ設定が必要であり、これらはカスタムコードで処理するのが最適であるためです。続く2つのステップでは、標準のSalesforce B2C Commerceジョブステップを使用して、ダウンロードしたプロモーションおよびクーポンデータをプラットフォームにインポートします。この方法により、データの取得からCommerceプラットフォームへの統合まで、データフローが効率化されます。

質問**: 20**
クライアントは、毎日いくつかの製品の在庫状況をリアルタイムで確認したいと考えています。これらの製品は、B2Cコマースと、同じ在庫管理システムに紐づけられた実店舗のPOSシステムの両方で販売されています。
建築家が以下の提案された解決策を分析する。
在庫フィードは引き続き毎日実行されますが、フラッシュ商品の在庫がしきい値に達した後、チェックアウト時にB2Cコマースの在庫をリアルタイムで比較および更新するためのWebサービス呼び出しが追加されます。
設計者は、このソリューションに関して、クライアントに伝えるべきリスクを2つ挙げてください。

2つの回答を選択してください
A. Webサービスのデフォルトのレートリミッター設定により、トラフィックが多いときにWebサービスが例外を返す可能性があります。
B. 外部ホスト型ウェブサービスが信頼できない場合、サイトの注文処理フローにおける障害点となる可能性があります。
C. Webサービス呼び出しをトリガーする製品在庫しきい値に頻繁に達すると、サイトのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。
D. ジョブは引き続き毎日実行されるように設定されているため、フラッシュセール期間以外の期間にはパフォーマンスが低下します。
正解: **(**正解を表示します**)**
フラッシュセール期間中に提案されているリアルタイム在庫更新ソリューションに関連するリスクは以下のとおりです。
* オプション A (Web サービスのデフォルトのレート リミッター設定により、トラフィックが多いときに Web サービスが例外を返す可能性があります): これは重大なリスクです。フラッシュ セール中のトラフィックが多いと、Web サービスに設定されているレート制限を超え、例外が発生し、在庫をリアルタイムで更新できなくなる可能性があります。
* オプション B (外部ホスト型ウェブサービスが信頼できない場合、サイトの注文処理フローにおける障害点となる可能性があります): 在庫更新などの重要な操作を外部ウェブサービスに依存すると、サービスが信頼できない場合にダウンタイムやパフォーマンスの問題が発生するリスクが生じ、ピーク販売期間中の注文処理能力に直接影響します。
どちらのリスクも、重要な販売イベント中に業務を著しく混乱させる可能性があるため、堅牢な緊急時対応計画が必要であり、信頼性を確保するためにソリューションアーキテクチャの見直しも検討する必要がある。

質問: **21**
クライアントは、同じSFTPロケーション上の複数のサードパーティからのフィードを受信します。
* 製品価格 (sftp: prod/prices)
* 情報を保存します (sftp: prod/stores;
* 製品情報 (sftp: prod/catalog)
* カテゴリ情報 $ftp: prod/marketing）
* コンテンツ (sftp: prod/marketing)
ソースシステムで情報が更新されるたびに、一部のフィードは1日に複数回sftpにアップロードされます。
建築家は、2つの仕事だけをすることに決めた。
* 1時間ごとに利用可能なフィードをチェックしてダウンロードする
* データ複製前に、ジョブフレームワークで利用可能な標準手順を使用して、WebDAVからファイルを1日に1回インポートするジョブ。手順の範囲を考慮すると、インポートジョブにとって正しい設計はどれですか？
A. - 4 つの兄弟フローがステップ ki を並列実行: 製品、店舗、価格、コンテンツのインポート - 5 番目のフローが実行: カテゴリのインポート - 最後のフローがステップを順番に実行: インデックスの再作成
B. - 4 つの兄弟フローは、製品、店舗、価格、コンテンツのインポートなどのステップを並列で実行します。- 最後のフローは、カテゴリのインポート、再インデックスなどのステップを順番に実行します。
C. - 3 つのフローのインポート手順を並行して実行: 製品、店舗、価格のインポート - 4 番目のフローが実行: カテゴリのインポート - 最後のフローが手順を順番に実行: インデックスの再作成、コンテンツのインポート
D. -4つの兄弟フローは、製品のインポート、店舗、価格、コンテンツのステップを並列で実行します。最後のフローは、カテゴリのインポート、インデックスの再作成のステップを順番に実行します。
正解: **(**正解を表示します**)**
この設計は、効率性と同時実行性を最大限に高めます。商品、店舗、価格、コンテンツのインポートを行うジョブを並列実行することで、システムは複数のデータストリームを同時に処理でき、処理時間を短縮します。カテゴリのインポートとその後の再インデックス化を順次実行することで、更新頻度の高いデータのインポート完了後、すべての新規および更新情報が適切にインデックス化され、サイトで使用できるようになります。この順序は、各ステップ間の依存関係を尊重し、B2Cコマース環境における複雑なデータワークフローの処理に関するベストプラクティスに準拠しています。

質問: **22**
以下のプロモーションは、-1ヶ月キャンペーンにおいて、排他性なし（他のプロモーションと組み合わせ可能）に設定されています。
* 店舗での正しい配送は無料です
* アクセサリー製品20%割引（すべてのお客様対象）
* 5ドル割引クーポン（一部の顧客グループに送付）
上記のプロモーションを組み合わせると、店頭で靴下16足が無料になるという事態が発生しました。これは意図したものではなく、クライアントはクーポンを無効にすることを検討しています。クライアントは、クーポンが無効になる前にカートにクーポンコードを追加した顧客からのコールセンターへの問い合わせが急増する可能性を懸念しています。カートの有効期間はすべての顧客に対して30日間に設定されているため、この状況はキャンペーン期間中ずっと続く可能性があります。
建築家は、コールセンターへの電話件数を最小限に抑えるために、どのような解決策を提案すべきでしょうか？
A. クーポンコードを無効にします。ビジネスマネージャーからプロダクションキャッシュをクリアして、既存のバスケットをクリアします。
B. クーポンコードを無効にします。すべてのお客様に、カートでクーポンコードを使用しないようメールで通知します。
C. クーポンコードを無効にします。コントロールセンターから本番インスタンスを再起動して、既存のバスケットを復元します。
D. クーポンコードを無効化します。ビジネスマネージャーでバスケットの有効期限を短縮し、既存のバスケットの一部を期限切れにします。
正解: **(**正解を表示します**)**
バスケットの有効期限を短縮することは、プロモーションクーポンの無効化による影響を最小限に抑えるための戦略的なアプローチです。この措置により、無効化されたクーポンがまだ含まれている可能性のあるバスケットの有効期限が早まり、クーポンに関する問い合わせがコールセンターに寄せられる件数を減らすことができます。
この方法を用いることで、既存のすべてのカートをクリアしたり、本番環境を再起動したりといった抜本的な措置を回避できます。こうした措置は、ユーザーエクスペリエンスを損ない、顧客の不満をさらに高める可能性があるからです。

質問: **23**
アーキテクトは、サービス開始から数時間後に注文コンバージョン率が劇的に低下したことをビジネス部門に通知する。
さらなる調査の結果、顧客がチェックアウトに進めなくなっていることが判明しました。アーキテクトは、チェックアウトの開始時にサードパーティAPIを使用したカスタム在庫チェックが実行され、商品が在庫切れの場合は顧客がカートページにリダイレクトされることを認識しています。どのツールを使用すれば、問題が実際に在庫チェックによって引き起こされていることを確実に確認できますか？
A. レポートとダッシュボードからの売上ダッシュボード
B. ビジネスマネージャーからのサービス状況
C. ビジネスマネージャーのパイプラインプロファイラ
D. レポートとダッシュボードからのリアルタイムレポート
正解: **C (**コメントを発表する**)**
チェックアウト開始時の在庫チェックが問題の原因であることを検証する適切なツールは、Business Manager のパイプライン プロファイラです。このツールを使用すると、アーキテクトはサードパーティ API 呼び出しを含む特定のコード実行パスのパフォーマンスを分析できます。パイプライン実行におけるボトルネックや非効率性を特定するのに役立ちます。特に、在庫チェックなどのカスタム コードがサイトの機能に影響を与える可能性がある場合に有効です。パイプライン プロファイラを使用することで、アーキテクトはカスタム在庫チェックがチェックアウト プロセスの失敗や不適切なリダイレクトの原因となっているかどうかを特定できます。

質問: **24**
Northern Trail Outfitters (NTO) は、独自の e コマース プラットフォームから B2CCommerce にオンライン ショップを移行したいと考えています。NTO は、数千件の顧客レコード (プロファイル情報、アドレス帳) を移行する必要があります。WTO は B2C Commerce フィードを提供できます。現在、NTO は顧客パスワードの暗号化メカニズムとして SHA-256 を使用しています。
建築家はどのようなアプローチを提案できるだろうか？
A. B2C CommerceはSHA-2S6をサポートしているため、ハッシュ化されたパスワードを含む顧客レコードをインポートすると、既存のパスワードでログインできるようになります。

B. 顧客レコードをインポートせず、B2C Commerce ストアフロントに初めてログインしようとした際に、顧客に新しいアカウントを作成するように求めます。
C. パスワードフィールドを除く顧客レコードをインポートすると、B2C Commerce は顧客がストアフロントに初めてログインしたときに自動的にパスワードのリセットを要求します。
D. ハッシュ化されたパスワードをカスタム属性として顧客レコードをインポートし、ログイン時に入力されたパスワードをハッシュ化されたパスワードと比較し、パスワードフィールドに保存します。
正解: **(**正解を表示します**)**
B2C Commerceは、セキュリティプロトコルおよびプラットフォームのパスワード管理システムの制約により、認証に使用するハッシュ化されたパスワードのインポートを直接サポートしていません。最適な方法は、パスワードフィールドを含めずに顧客レコードをインポートすることです。顧客が新しいシステムに初めてログインしようとした際に、パスワードのリセットを求められます。この方法により、B2C Commerceの標準に準拠したパスワードセキュリティが維持され、旧プラットフォームからの移行中も顧客データが安全に保たれます。

質問: **25**
ある小売業者は、単一のオンラインストアと製品管理システム（PIM）を運用しています。PINは毎日マスターカタログとストアフロントのカテゴリ分類カタログを生成し、SFTPにアップロードしています。アーキテクトは、ベストプラクティスに従ってインポートジョブフローをどのように構成すべきでしょうか？
A. 1つ目のフローは、SFTP経由でファイルをダウンロードするためのグローバルなフローです。2つ目のフローは、マスターカタログをインポートするためのグローバルなフローです。3つ目のフローは、ストアフロントカタログをインポートするためのグローバルなフローです。
B. 1つ目のフローはSFTPからファイルをダウンロードするためのグローバルな処理です。2つ目のフローはストアフロントカタログをインポートするためのグローバルな処理です。3番目のフローKグローバルを使用してマスターカタログをインポートします。
C. 1つ目のフローは、SFTPからファイルをダウンロードするためにサイトに割り当てられます。2つ目のフローは、マスターカタログをインポートするためにサイトに割り当てられます。3つ目のフローは、Kグローバルがストアフロントカタログをインポートするために割り当てられます。
D. 1 番目のフローは、SFTP からファイルをダウンロードするためにサイトに割り当てられます。2 番目のフローは、ストアフロントカタログをインポートするためにサイトに割り当てられます。3 番目のフローは、マスターカタログをインポートするためにグローバルに割り当てられます。
正解: **(**正解を表示します**)**
PIMシステムからのデータインポートに関する最適なジョブフローを実現するには、まずSFTPサイトからファイルをグローバルにダウンロードし、次にB2Cコマースプラットフォームにデータをインポートするという手順を踏む必要があります。
* 最初のフロー :ファイルをダウンロードし、必要なファイルがすべて利用可能でインポートの準備ができていることを確認します。
* 2番目の流れ :ストアフロントカタログをインポートします。ストアフロントカタログはマスターカタログに依存している可能性がありますが、一般的にサイズが小さく、より迅速に更新できます。
* 3つ目の流れ :マスターカタログをインポートします。マスターカタログには通常、さまざまなサイト機能に必要な基礎データが含まれています。
この手順はデータの依存性と整合性を尊重し、関連するすべてのデータがインポートされた後、ストアフロントに最新かつ正確な情報が反映されるようにします。

有効的な**Arch-303**問題集はJPNTest.com提供され、**Arch-303**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**Arch-303**試験問題集を提供します。JPNTest.com Arch-303試験問題集はもう更新されました。ここで**Arch-303**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/Arch-303-mondaishu　**68**問、３０%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」